

表●主な教授スタイルの長所と短所のまとめ

	長所	短所
一斉指導による講義	<ul style="list-style-type: none"> ・多量の内容を短時間で講義ができる。 ・多数の学習者を同時に教えられる。 ・教師の事前の準備が相対的にしやすい。 ・教師主導であるため、教師の知識・技術を発揮しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者が受動的な学びになりやすい。 ・学習者の積極的な問題解決能力の育成が難しい。 ・学習者の個人差に応じた指導が難しい。
少人数指導(習熟度別、協同学習など)	<ul style="list-style-type: none"> ・相対的には動機づけを高めやすい。 ・学習者の個人差にかなり応じた指導が可能。 ・集団での問題解決能力を向上させやすい。 ・主体的な思考を促したり、操作活動をするには適している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導ほどではないが、やはり時間やコストがかかる。 ・学習者間の関係性がうまくいっていないときには学習にも支障を来す場合も起きやすい。 ・等質な集団の時には回答の多様さが確保されない。
個別指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者の個人差に応じた指導が可能である。 ・多様な教える内容に対して適宜対処して教えやすい。 ・個別の特殊なスキル指導にも対応しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者間の相互作用がないため、多様な考え方を身につける機会がない。 ・時間やコストがかかる。 ・教師の側の教える能力に大きく依存する。

(筆者作成)